

5

環境保全・自然との共生



施策の方向

目指す環境像を実現するために、自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、環境教育の5つの分野において、関係機関との連携を取りながら施策を推進します。

また、市が実施する温室効果ガス排出の抑制等の取組を着実に実行することで、環境負荷の低減を図ります。さらに、市民や事業者の環境に関する知識の習得や活用を支援することで、環境問題に関する意識の向上を図ります。このように、市民、事業者との協働を進めることにより、市全体で力を合わせ、環境の保全と創造に取り組みます。

市民が誇りに思う美しいまちや河川の美化に、様々な主体が取り組む「みんなで美しい人吉づくり」プロジェクトや、人吉の環境を理解し、身近に感じるための様々な方法や情報を収集し、市民各世代が環境活動(エコ活動)を行いやすい状況をつくる「環境を身近に」プロジェクトを重点的に推進します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値
温室効果ガス排出量 (市公共施設)	3, 223 t	△	2, 521 t (令和8年度)
公共施設における新エネルギー(※3)の導入件数	12件	○	18件 (令和9年度)
美化活動実施団体の数	131団体	○	140団体 (令和9年度)

主要な事務事業

- (1)環境政策推進事業(環境基本計画の推進)
- (2)みんなで人吉の環境地域づくり推進事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(5)環境保全・自然との共生		

事務事業名	環境政策推進事業(環境基本計画の推進)	担当課	環境課
事務事業概要	人吉市環境基本計画の進行管理を行い、重点プロジェクトやその他の環境施策への取組を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	環境審議会	既存
	既存	環境MS調査	人吉市地球温暖化対策実行計画推進本会議

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
温室効果ガス排出量(市公共施設)	2,521t	3,223t		2,665t	
公共施設における新エネルギーの導入件数	18件	12件		13件	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	298	千円	100	千円
事業費	298	千円	100	千円	

評価

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	・再エネ・新エネなど環境関係企業とのマッチングイベントに参加し、様々な提案を受けた。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	・再エネ・新エネの導入には多額の経費を必要であるため、実施に至るまでのハードルが高い。				
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎内の施設管理部署との連携を強化する。 補助金の活用や施設に適した導入方法など運用面を慎重に検討を行う。 魅力ある効率的な導入について提案できる事業者との連携を図る。 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
温室効果ガス排出量(市公共施設)	2,617t		2,569t		2,521t		
公共施設における新エネルギーの導入件数	14件		16件		18件		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	100	千円	298	千円	100	千円
事業費	100	千円	298	千円	100	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(5)環境保全・自然との共生		

事務事業名	みんなで人吉の環境地域づくり推進事業	担当課	環境課	
事務事業概要	小学生対象の「身近な川の水生生物調査」を実施し、地元人材を活用した次世代の育成および環境地域づくりを推進する事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	「みんなで美しい人吉づくり」プロジェクト	既存	身近な川の水生生物調査
	新規	グリーンカーテン普及啓発事業		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		美化活動実施団体の数	140団体	131団体	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	212	千円	211	千円
	事業費	212	千円	211	千円

評価

事務事業評価					
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)				
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の地球温暖化防止への関心を高めるため、人吉市環境基本計画の「環境を身近に」プロジェクトの中の「エコな人吉暮らし推進運動」にかかる事業の一環として、グリーンカーテンの普及啓発に関する事業を実施した。 市内小学生(5年生)を対象に校区内の河川において、水生生物の生息状況などから水環境調査を行い、人吉市の身近な川の概況を把握する。自らの暮らす地域に目を向け、理解し、環境地域づくりの主体として行動できる次世代の育成を図った。 				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)				
	<ul style="list-style-type: none"> グリーンカーテンの普及事業については、一過性のものでせず、事業終了後も、個人でいかに継続させるかが課題である。 身近な川の水生生物調査は講師の確保が課題である。 				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	<ul style="list-style-type: none"> グリーンカーテン普及事業実施者が取り組みを継続していくことはもちろん、自らが率先してPRに務めてもらうよう、実施者との連携を図る。 身近な川の水生生物調査は、環境課だけではなく、教育委員会や国・県との連携を強化し取り組む必要がある。 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画							
成果指標	目標値	令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		美化活動実施団体の数	137団体	139団体		140団体	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	226	千円	226	千円	226	千円
	事業費	226	千円	226	千円	226	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

6

資源循環型社会の形成



施策の方向

分別・排出ルールの徹底や、生ごみ処理機等導入補助金の利用促進に向けて、ホームページ等での周知や衛生員連合会との連携による普及啓発の強化、ごみ処理手数料の見直し等により3Rを推進します。

これらの取組により、ごみの減量化・資源化につなげ、ごみ処理経費の削減、処理施設への負担軽減や施設の延命化を図るとともに、資源循環型社会の形成を目指します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
1人1日当たりのごみ排出量	988グラム	△	921グラム
リサイクル率	20.1%	○	24.0%
生ごみ処理機等導入補助	31件	○	40件

主要な事務事業

- (1)塵芥(ごみ)処理事業
- (2)ごみ減量リサイクル事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(6)資源循環型社会の形成		

事務事業名	塵芥(ごみ)処理事業	担当課	環境課
事務事業概要	ごみ処理計画の策定、ごみ収集、処分場の維持管理費負担に関する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	一般廃棄物処理実施計画の策定	既存
	既存	一般廃棄物収集及び運搬業務委託によるごみ収集	人吉球磨広域行政組合への負担金支払い

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		1人1日当たりのごみ排出量	921グラム	988グラム	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	589,639	千円	633,845	千円
	事業費	589,639	千円	633,845	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	民間への業務委託により、一般廃棄物の収集及び運搬業務について、適切に処理された。 また、委託業者との連携により、今後のごみ減量や収集作業の効率化に向けて、情報共有・検討を行った。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	資源ごみの分別品目を増やす事で、ごみ減量や資源循環の促進に繋がるが、収集及び運搬業務量の増加に伴い、委託料も増額になる。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	<ul style="list-style-type: none"> これまでの分別ルール徹底のための周知強化 新たな分別品目の追加に向けた、モデル事業等の推進 分別品目の追加に合わせ、収集作業の一部軽減も含めた作業効率化の検討 	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 人員

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		1人1日当たりのごみ排出量		954グラム		938グラム	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	642,626	千円	659,861	千円	649,353	千円
	事業費	642,626	千円	659,861	千円	649,353	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(6)資源循環型社会の形成		

事務事業名	ごみ減量リサイクル事業	担当課	環境課	
事務事業概要	分別・リサイクル、生ごみ自家処理の推進など、ごみの減量化・再資源化を推進する事業			
主な取組内容 Plan	既存	ごみの減量化・再資源化を推進する事業	既存	生ごみ処理容器・処理機設置事業補助金
	既存	人吉市環境衛生等事業交付金		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
リサイクル率	24%	20.1%		21.0%	
生ごみ処理機等導入補助	40件	31件		33件	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	44,346	千円	45,295	千円
	事業費	44,346	千円	45,295	千円

評価

事務事業評価				
成果・課題 Check	(取組成果)			
	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物で大きな割合を占めている容器包装廃棄物について、ペットボトル等の容器包装廃棄物の保管業務委託により、再商品化の推進を図った。 また、集団回収の実施団体に対し、実勢価格または最低額5円/kgの報償費を支給し、ごみの減量及び再資源化の推進を図った。 指定ごみ袋の販売等委託により、指定ごみ袋制度を円滑に実施し、ごみ減量及びごみの適正処理の推進を図った。 生ごみ処理容器・処理機の補助事業の普及促進を図った結果、令和5年度の処理機等の補助件数は、前年度より18件増加した。 			
改善内容 Action	(今後の課題)			
	未だ分別ルールが守られていない不適正なごみ出しや可燃ごみ・不燃ごみへの資源物の混入は多い状況にあり、近年の人口1人1日当たりのごみ排出量が横ばいで推移している状況からも、今後一層の減量化・再資源化への取り組みを強化していく必要がある。			
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック容器包装及びプラスチック製品の資源化に向けた分別収集への取組み ごみ処理手数料の見直し検討 生ごみ処理機等導入補助金の利用促進に向けた普及啓発の強化 衛生員連合会と連携したごみ減量化・再資源化への取組み 	事業の方向性	資源配分	
		拡大	財源	拡大
			人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
リサイクル率	22.0%		23.0%		24.0%		
生ごみ処理機等導入補助	35件		38件		40件		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	54,920	千円	61,840	千円	61,681	千円
	事業費	54,920	千円	61,840	千円	61,681	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	人吉市環境基本計画の推進による環境に配慮した循環型社会の構築を目指します	

7

上水道の維持・整備



施策の方向

上水道は、「自然災害に対応する強靱な水道」「時代環境の変化に対応する持続可能な水道」「安全安心で安定的に供給する水道」等の目標のため、施設の老朽化対策や耐震化を図ることにより、漏水防止に努め有収率の向上を目指すとともに、経営の安定および効率化、管理体制の機能強化に努めます。

また、被災市街地復興推進地域のうち、青井被災市街地と紺屋町被災市街地で実施される土地区画整理事業による都市基盤施設の整備の一環として、事業計画のスケジュールに歩調を合わせた形で配水管の布設替えを行うとともに、管路の耐震化も促進し、持続可能な地域づくりを目指す必要があります。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
原城配水池の更新	杭基礎工事56本	○	本体完成・供用開始 (令和7年度予定)
管路の耐震化適合率(※2)	24.01%	○	25.2%(※2)
有収率※(※3)	85.56%	△	86.6%(※3)

(※①) 耐震管延長÷管路全体延長 69,470m÷289,974m

(※②) 耐震管延長÷管路全体延長 73,000m÷289,974m

(※③) 85.57%+年間約0.2%×5年間=86.57%

主要な事務事業

- (1) 上水道施設(水源地、配水池等)整備更新事業
- (2) 上水道送配水管耐震化事業
- (3) 上水道老朽管路更新事業
- (4) 人吉市上下水道料金徴収事務等業務委託事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(7)上水道の維持・整備		

事務事業名	上水道施設(水源地、配水池等)整備更新事業	担当課	上水道課
事務事業概要	老朽化した水源地および配水池の施設を整備する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	原城配水池の更新	
	新規	茂ヶ野水源地耐震化事業	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		原城配水池の更新	本体完成・供用開始	杭基礎工事 56本	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	75,000	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	162,833	千円	16,060	千円
	事業費	162,833	千円	91,060	千円

↓ 評価 ↓

事務事業評価					
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)				
	年次計画通りに事業進捗しており、年度当初に滞りなく発注できている。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)				
	物価や人件費の高騰が続いており、事業費の増大が懸念される。ほかにも多くの施設があるため、経過年数・重要度等を勘案して、事業を進めなければならない。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	施設・設備の縮小も視野に入れて検討する。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

↓ 改善 ↓

↓ 方向性 ↓

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		原城配水池の更新	配水池本体基礎及び場内配管工事等	配水池本体の建設工事等		場内の整備工事等	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	100,000	千円	400,000	千円	50,000	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	50,000	千円	50,000	千円
事業費	100,000	千円	450,000	千円	100,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(7)上水道の維持・整備		

事務事業名	上水道送配水管耐震化事業	担当課	上水道課
事務事業概要	水道管(送水管・配水管)を地震に強い管に布設替えする事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	上水道送配水管耐震化	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値
		管路の耐震化適合率	25.20%	24.01%
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	29,365	千円	4,488 千円
	事業費	29,365	千円	4,488 千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	少しずつではあるが年々、耐震適合率が上昇している。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	<p>上水道老朽管路更新事業と同様に、長期的に取り組む必要があるが、物価や人件費の高騰により、事業の縮小化が想定され、耐震適合率の伸び悩みが懸念される。</p> <p>ほかの水道施設も老朽化が進んでおり、これまでのように耐震化事業(及び老朽管路更新事業)に重点的に予算を配分することが困難になると思われる。</p> <p>主要路線を選定し、効率的に耐震化していく必要がある。</p> <p>ほかの事業に合わせて布設替えを行うなど、事業費の縮小化を図る。</p>		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画					
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
		管路の耐震化適合率		24.59%	
事業財源	費目	予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0 千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円	0 千円
	一般財源	50,000	千円	50,000 千円	50,000 千円
	事業費	50,000	千円	50,000 千円	50,000 千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(7)上水道の維持・整備		

事務事業名	上水道老朽管路更新事業	担当課	上水道課
事務事業概要	老朽化した水道管を更新していく事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	上水道老朽管路更新	
	新規	区画整理事業等に伴う管路更新	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度実績値		令和6年度目標値
		有収率	86.60%	85.56%
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	44,327	千円	92,000 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	0	千円	51,000 千円
	事業費	44,327	千円	143,000 千円

評価

事務事業評価				
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)			
	年々少しずつではあるが、有収率が向上している。			
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)			
	上水道送配水管耐震化事業と同様に、長期的に取り組む必要があるが、物価や人件費の高騰により、事業の縮小化が想定され、有収率の伸び悩みが懸念される。ほかの水道施設も老朽化が進んでおり、これまでのように老朽管路更新事業(及び耐震化事業)に重点的に予算を配分することが困難になると思われる。			
	事業の方向性	資源配分		
	現状維持	財源	現状維持	
		人員	現状維持	

改善

方向性

実施計画						
成果指標		令和7年度目標値		令和8年度目標値	令和9年度目標値	
		有収率		86.08%		86.34%
事業財源	費目	予算額		予算額		
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0 千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0 千円
	起債	80,000	千円	80,000	千円	80,000 千円
	その他	0	千円	0	千円	0 千円
	一般財源	36,262	千円	107,040	千円	32,500 千円
事業費	116,262	千円	187,040	千円	112,500 千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(7)上水道の維持・整備		

事務事業名	人吉市上下水道料金徴収事務等業務委託事業	担当課	上水道課
事務事業概要	上下水道料金の徴収事務を民間に委託する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	検針を含む上下水道料金の徴収等に係る業務を民間に委託する事業	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		有収率	86.60%	85.56%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	53,553	千円	53,553	千円
	事業費	53,553	千円	53,553	千円

評価

事務事業評価					
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)				
	令和2年度から令和6年度にかけ、本事業委託を実施。専門的な知識と経験を持つ民間委託業者によって、確実かつ円滑な業務遂行に加え、滞納者に対するコミュニケーションの強化、問題解決に向けたサポート体制の充実などにつながった。また、料金徴収業務を委託することによって、上水道の設備・管渠の建設や更新、維持管理、事業経営などの業務に、より多くの時間とエネルギーを費やすことができた。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)				
	物価や人件費の高騰等により委託費の上昇が見込まれるため、本委託事業の適正な事業規模を見極めるとともに、財源の確保が課題となる。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に係る費用対効果を分析する。 ・他事業の費用の削減ができないか検討する。 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画							
成果指標	目標値	令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		有収率	86.08%	86.34%		86.60%	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	57,948	千円	57,948	千円	57,948	千円
	事業費	57,948	千円	57,948	千円	57,948	千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

8

下水道等の維持・整備



施策の方向

市民生活を支える重要なライフラインとしての役割を果たすため、污水处理システムの最適化および適切な污水处理の実施、流域治水の着実な実施による雨水対策を推進するとともに、今後雨水管理総合計画を策定し、事前防災の観点を含めた市民の方への情報発信に努めていきます。

また、人吉市下水道事業経営戦略および公共下水道ストックマネジメント計画については、豪雨災害により前提条件が変わっており、被災後の状況を勘案した計画の見直しを進めます。

今後も、持続的な事業運営を実施していくために多様な官民連携の手法を検討するとともに、下水道の活用による付加価値向上や脱炭素化の推進、アセットマネジメントの導入についても検討も進めていきます。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
下水道普及率 ^(※①) (公共下水道処理区域789.68ha)	75.0%	○	76.7%
水洗化率 ^(※②) (公共下水道処理区域789.68ha)	95.5%	◎	95.0%
合併処理浄化槽設置基数 ^(※③)	908基	○	979基

(※①) 下水道普及率…公共下水道処理区域内人口/市人口

(※②) 水洗化率…公共下水道使用人口/公共下水道処理区域内人口

(※③) 合併処理浄化槽設置基数…平成2年度から開始した浄化槽設置整備補助事業の設置基数総計

主要な事務事業

- (1) 公共下水道施設等改築更新事業
- (2) 公共下水道整備事業
- (3) 浄化槽普及促進事業
- (4) 下水道普及促進事業
- (5) 経営戦略・ストックマネジメント計画の見直し事業

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(8)下水道等の維持・整備		

事務事業名	公共下水道施設等改築更新事業	担当課	下水道課
事務事業概要	終末処理場「人吉浄水苑」、雨水・汚水中継ポンプ場、雨水・汚水管渠など老朽化した公共下水道施設の改築や修繕、機械・電気設備の交換等を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉浄水苑の改築更新事業	既存
	新規	出町橋の圧送管の改築更新事業	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
下水道普及率	76.7%	75.0%		75.1%	
水洗化率	95.0%	95.5%		95.6%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	213,049	千円	247,750	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	160,600	千円	171,600	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	19,713	千円	41,850	千円
	事業費	393,362	千円	461,200	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	ストックマネジメント計画に基づき年次計画で改築更新を実施している。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	施設の老朽化は今後も一層進むことから、更新費用は増大していく一方で、人口減少等による使用料収入の減少や、施設利用率の低下でオーバースペックとなってしまう資産、物価上昇に伴う経常経費の上昇傾向により、収支のギャップは今後も広がっていく見込みである。		
	事業の平準化による収支の均衡。 使用料改定・広域化・公民連携、事業見直し(ダウンサイジング等)の検討。	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 拡大

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
下水道普及率		75.2%		75.3%		75.4%	
水洗化率		95.7%		95.8%		95.9%	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	278,750	千円	173,600	千円	160,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	209,000	千円	133,500	千円	144,000	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	23,250	千円	14,900	千円	16,000	千円
	事業費	511,000	千円	322,000	千円	320,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(8)下水道等の維持・整備		

事務事業名	公共下水道整備事業	担当課	下水道課
事務事業概要	未整備区域の整備を進めることで、下水道処理区域の拡大と、下水道接続世帯が増加することにより、下水道普及率や水洗化率の向上につなげる事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	公共樹設置事業	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
下水道普及率	76.7%	75.0%		75.1%	
水洗化率	95.0%	95.5%		95.6%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	16,345	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	18,800	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	11,806	千円	12,000	千円
事業費	46,951	千円	12,000	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和2年度(2020年度)から整備を進めていた城本地区の管きょ布設が令和5年度(2023年度末)に完了したことにより、令和6年度から接続が可能となった。 城本地区の整備が完了したことにより、下水道整備については、ほぼ概成することができた。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	下水道整備については、ほぼ概成しており、地理的要因等で技術的に接続が難しい箇所(河川敷や土地が低いためポンプアップ等が必要等)が残っている。 既存施設の建て替えよりも、新たに農地を宅地化して下水道に接続される件数も多く、ストックの有効活用ができずストックが増加してしまう。 接続困難箇所については、積極的に浄化槽を推進していく。		
	事業の方向性	資源配分	
	縮小	財源	削減
		人員	削減

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
下水道普及率	75.2%		75.3%		75.4%		
水洗化率	95.7%		95.8%		95.9%		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	12,000	千円	12,000	千円	12,000	千円
事業費	12,000	千円	12,000	千円	12,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(8)下水道等の維持・整備		

事務事業名	浄化槽普及促進事業	担当課	下水道課	
事務事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道認可区域外にお住まいの方等で、市税を滞納していない方へ、人吉市浄化槽設置整備事業補助金を交付する事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	新規	浄化槽協会と合同での啓発訪問	既存	HP等での周知
	既存	人吉市浄化槽整備事業補助金		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		合併処理浄化槽設置基数	979基	908基	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	2,403	千円
	県補助金	2,967	千円	3,097	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	8,301	千円	5,459	千円
	事業費	11,268	千円	10,959	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	合併処理浄化槽を導入することにより、生活環境ほ保全及び公衆衛生の向上を図ることができた。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	<p>適正な維持管理が行われていることを確認する法定検査の受検率を向上させる。 空き家が増えていくことから、空き家に対する対応(浄化槽の適切な使用)を周知させていく。 平成2年度(1990年度)から事業を行っているが、初期の浄化槽が30年を超えることから、浄化槽の更新についても実施していく必要がある。</p> <p>・未受検者への戸別訪問の実施による法定検査受検率の向上。</p>		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値	
		合併処理浄化槽設置基数		958基		983基	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	1,696	千円	2,403	千円	2,403	千円
	県補助金	2,057	千円	3,097	千円	3,097	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	18,859	千円	5,459	千円	5,459	千円
事業費	22,612	千円	10,959	千円	10,959	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(8)下水道等の維持・整備		

事務事業名	下水道普及促進事業	担当課	下水道課
事務事業概要	公共下水道未接続世帯等への水洗化促進および啓発事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	下水道排水設備組合と水洗化訪問	既存 水栓便所等改造資金助成金

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
下水道普及率	76.7%	75.0%		75.1%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	1,390	千円
事業費	0	千円	1,390	千円	

↓ 評価 ↓

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和2年度(2020年度)から整備を進めていた城本地区の管きよ布設が令和5年度(2023年度末)に完了したことにより、令和6年度から接続が可能となった。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を開始する前のアンケートでは、速やかに下水道に接続したいという声が多かったが、数年経過していることや、多額の費用が発生することもあり、当時の意向から翻意されている可能性がある。 ・合併浄化槽を設置されている世帯は、機能としてあまり変化がないため、下水道への転換が進みづらいことが想定される。(積極的なアプローチが必要である。) 		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

↓ 改善 ↓

↓ 方向性 ↓

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
下水道普及率		75.2%		75.3%		75.4%	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	1,390	千円	1,390	千円	1,390	千円
事業費	1,390	千円	1,390	千円	1,390	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略3	自然環境・安全	一人ひとりが手を携え、安心して暮らせる生活基盤づくり
施策項目	(8)下水道等の維持・整備		

事務事業名	経営戦略・ストックマネジメント計画の見直し事業	担当課	下水道課
事務事業概要	豪雨災害で施設の多くが被災し、従前の計画では前提が大きく違うため、経営戦略およびストックマネジメントを見直す事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	ストックマネジメント計画の策定	既存 経営戦略の改訂

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		水洗化率	95.00%	95.5%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	20,800	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	20,800	千円
	事業費	0	千円	41,600	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	令和2年に策定したストックマネジメント計画は、令和2年度から令和6年度までの計画であり、途中、被災による災害復旧も実施しつつ、改築更新についても、計画に基づいて実施している。一方で、災害復旧に伴い資産の状況に変化があることから、現状に合わせた次期ストックマネジメントの策定に取り組んでいる。また、経営戦略についても、令和2年度から令和11年度までの期間で策定しているが、今後の人口減少等を加味した使用料収入を的確に反映させるなど、より質の高い経営戦略を令和7年度末までに策定することを要請されており、令和5年度末に災害復旧が完了したことにより、平時に近い諸元を得られることから、経営戦略の改訂のための情報収集に取り組んでいる。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	人口減少及び節水型設備や生活の変容等により、収益の根幹となる使用料収入が減少していることから、現在のストックマネジメント計画については、(認可計画に基づいて)現在の機能規模の更新になっているが、現状の処理量や今後見込まれる人口減少を考慮したうえで、オーバースペックになりうる資産については、ダウンサイジングや機能の省略化等を検討していき、使用料収入と汚水処理原価が均衡するようにしていき、住民生活に必要なサービスを安定的に提供できるように、事業マネジメントの向上を図る必要がある。		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値		令和9年度 目標値			
		水洗化率	95.7%	95.8%		95.9%	
事業財源	費目	予算額		予算額			
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長 Manifesto	該当なし